

	平成元年4月1日
長沼町の人口	6,469人
水道を使っている人	5,785人
水道を使っている家	1,346戸
いどを使っている家	112戸

いどとくらべると、水道は、人々がけんこうでゆたかな生活をするうえで、どんな役割をしているか話し合ってみましょう。

	い　　ど	水　　道
水のしつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水がにごることがある。</li> <li>・よごれた水やほこりが入るときがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうどくしてあって、安心して飲める。</li> <li>・ちょうどくのにおいがするときがある。</li> </ul>
水の量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日やりのとき、水がかれるときがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日やりや水道工事のときなどに、水が出なくなる。必要なだけ使える。</li> </ul>
水くみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、何回も水くみをしなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃぐちをひねるだけで水が出る。</li> </ul>
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水がおいしい。</li> <li>・夏はつめたく、冬はあたたかい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水せん便所が使えるようになった。</li> </ul>